

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成 25 年 5 月 14 日

昭和産業株式会社 平成 25 年 3 月期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：岡田茂）の平成 25 年 3 月期連結決算は、売上高 2,281 億 50 百万円、経常利益 87 億 7 百万円となりました。平成 26 年 3 月期通期連結業績予想については、売上高 2,400 億円、経常利益 88 億円を見込んでおります。

【平成25年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、政権交代後に円安・株高に転じ、景気下げ止まりへの期待が高まる一方で、長期化する欧州債務危機や新興国における経済成長の鈍化の影響により、景気は先行き不透明な厳しい状況が続きました。

食品業界におきましても、デフレ傾向や消費者の節約志向に加え、原料穀物相場におきましては夏場に過去最高値を更新した大豆、とうもろこしをはじめ、小麦、菜種においても依然として高値圏で推移するという厳しい環境にありました。

このような状況の中、当社グループは、2012 年（平成 24 年）よりスタートした「中期経営計画 12－16」の 6 つの基本戦略「①基盤事業の持続的成長」「②新たな分野への挑戦」「③海外事業の強化」「④効率化の推進」「⑤グループ連携の強化」「⑥CSR経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、連結売上高は 228,150 百万円と前連結会計年度に比べ 2,174 百万円（1.0%）の増収となりました。営業利益は 8,015 百万円と前連結会計年度に比べ 1,051 百万円（15.1%）の増益、経常利益は 8,707 百万円と前連結会計年度に比べ 863 百万円（11.0%）の増益、当期純利益は 4,680 百万円と前連結会計年度に比べ 612 百万円（15.1%）の増益となりました。

なお、当社および当社の子会社である敷島スターチ株式会社は、異性化糖および水あめ又はぶどう糖の取引に関して、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けておりましたが、同委員会から平成 25 年 4 月 8 日付の排除措置命令書（案）および課徴金納付命令書（案）に関する事前通知書を受領いたしました。これに伴い、当該課徴金納付命令書（案）で通知された課徴金額 718 百万円を課徴金引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

【平成26年3月期連結業績予想】

穀物の一次加工を主な事業とする当社グループは、小麦、大豆、菜種、とうもろこしなどの穀物原料相場の変動や、為替の急激な変動の影響を大きく受けます。穀物原料相場は今後も高い水準で推移し、為替も政権交代以降、急激な円安傾向に転じ、高コスト状態が継続することが考えられます。国内経済情勢につきましては、景気下げ止まりへの期待が高まる一方で、デフレ傾向や消費者の節約志向は続き、当社グループを取り巻く経済環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況において、当社グループは、平成24年4月より5ヶ年計画「中期経営計画12-16」を開始し、当社グループの持つ多様な事業の将来ビジョンを描き、成長戦略を遂行することで厳しい経済環境に対処してまいります。

平成26年3月期の業績は、連結売上高2,400億円、連結営業利益85億円、連結経常利益88億円、連結当期利益50億円を見込んでおります。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部長（^{いのひろし}猪野 浩）まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097